

YMCA健康福祉専門学校

健康福祉ニュース

What's New

- ・ いよいよ始まる
07年度生入学試験
- ・ 専門学校体育大会
続報です

信頼するには・・・

大人たちは子どもの成長を祈り、できる限り「安全な生き方」を子どもに選択してほしいと願っています。大人たちの願う「安全な生き方」の基準は、子ども自身のそれと比べて高くなるのは大人たち自らの知識や経験からくるものなのでしょう。



大人として子どもを**心配**することは当たり前のことですが、もしかしたら心配するということが子どもを**信頼**していないということなのかも知れないと考えたことはありませんか。

とは言っても子どもを信頼することも大変な勇気がいる難しいことかも知れません。

人の命が軽く見られる世の中だからこそ、子どもの帰りが少し遅いと、事件に巻き込まれたのではないかと少し元気がないと笑顔がないと、何か心配事があるのではないかと？

こうして子どもの様子をよく観察すればするほど大人たちの心配の種は尽きません。

さて、「子どもが自分で決めたことですからその通りにしようと思います」という大人たちは子どもを信頼しているのでしょうか。子どもの自立を期待する気持ちはよく理解できますが、何故、子どもがそのように判断したのか、誰に相談して、いつ決めたのかを知る大人が少なくなっているように感じています。

何事にも判断するには材料が必要です。判断するには予見する知識や経験も必要です。様々な状況から客観的に判断できるようにするために、大人は子どもに寄り添って一緒に考え「子どもの成長を願う気持ち」と向き合い続けることが大切ではないでしょうか。

「心配を引きつける」という表現がありますが、過剰な心配はかえってその心配を引きつけてしまうこともあるのではないのでしょうか。あまりにも大人たちから「気をつけて、気をつけなさい」と言われ過ぎることで「気をつけなさいといけなさい」と思う気持ちが強すぎて緊張してしまうことはありませんか。「大丈夫だから安心して」「いつも見守っているからね」という方がうまくいくことが多いように感じます。

一人で様々な材料を準備し、客観的な判断ができるようにたくましくなってほしいですね。そのためには大人たちは、子どもたちの成長を願う気持ちに加えて、子どもたちに寄り添いながら子どもたちの日常の変化への気づきを欠くことはできないのではないのでしょうか。

YMCA健康福祉専門学校
校長 小林 一郎



チームワーク抜群バレーボール部

専門学校体育大会サッカー部ベスト4、バレー部ベスト8入り

前号でもお伝えした専門学校体育大会で、サッカー部、女子バレー部もすばらしい成績を残すことができました。

多くの学生はこの時期に、施設実習、保育実習、教育実習を行っています。サッカー部は試合ごとに実習日程を確認しながらメンバー調整をしていきました。最後となった3位決定戦は福祉スポーツ科、健康福祉科のスクーリングや実習と重なり、主力メンバーがほぼ不在！しかし実習の終わった介護福祉科2年生の協力

を得て無事試合をすることができました。今年の春に結成、練習量の最も多い部活の1つである女子バレー部も大健闘でした。メンバーのひとり、介護福祉科1年の清野絢さんは「バレーボールは初心者ですが、学科や学年を超えてたくさんの人と知り合うことができました。試合も本当に楽しかったです！」と話してくれました。





気分は修学旅行(!?)健康福祉科の3年生

近大スクーリング

8月29日から9月1日、健康福祉科の3年生と福祉スポーツ科専攻科の学生は併修している近畿大学九州短期大学通信教育部保育科の本学スクーリング(福岡)へ出席しました。このスクーリングで行われる授業は「環境」。

3日間の授業の中では動物園へ行きました(観光ではありません)。動物園ではいろいろな動物を観察します。サル山では自分で選んだ1匹のサルを5分間、目で追いつその動きをスケッチします。サル山にはたくさんのサルがいます。そのサルを集団で見るのではなく個として捉えることで、それぞれの動きの特徴を見ることができます。これは保育・幼児教育の

現場ではとても大切なことです。目立つボスザル(子ども)だけを見るのではなく、すみっこで大人しくしているサル(子ども)に目を向ける、そして一人ひとりを理解するわけです。

またいろいろな動物の手だけをスケッチする課題もあります。普段動物を見るときは特徴的なところ(象の鼻、キリンの首など)を見てしまいがちです。しかし特徴的な部分だけを見るのではなくいろいろな角度で対象をみる、これも保育者の姿勢につながっていくんですね。



撮影場所もこだわった！福祉スポーツ科専攻科



求人掲示は、「高齢者」「障がい者」「幼児教育」「スポーツ」にわかれています

夏の実習が終わるといよいよ…

夏休みの間にはさまざまな現場実習が行われます。そして資格取得にかかる実習をすべて終える健康福祉科の3年生、介護福祉科の2年生、福祉スポーツ科専攻科の学生はいよいよ就職活動に本格突入していきます。

就活の方法はさまざまです。実習でお世話になった施設から採用試験を勧められる場合もあれば、インターネット等で調べて問合せしていく場合もあります。保育施設への就職を希望している場合でも公立私立では採用の手順も時期もこと

なります。

YMCA健康福祉専門学校では福祉について大変広く学んでいます。就職に際しても「高齢者」「障がい者」「児童」「スポーツ」など選択肢もたくさんです。自分自身のやりたいことや得意分野を考え、担任の先生と相談しながら就職先を決めていきます。



職種はもちろん、場所、初任給みんな大事です

学校選び、みんなどうしてる？ 在校生に聞いてみました



福祉スポーツ科1年
佐藤 世さん
保育士になりたいと学校選びをしました。工業系の高校だったので

ですが進路指導の先生と相談し、卒業生のいる学校のなかから選びました。福祉スポーツ科のいいところは実際に子どもたちとかかわる時間が長いところ。幼児体育の現場に触れながら子どもたちだけでなく保護者の方たちとかかわりも学んでいます。



介護福祉科2年
澄川 彩萌子さん
高校で行われた説明会で初めてYMCAの話を聞きました。授業の多さ

には驚きましたが行事もたくさんあるので充実した日々を送れるかな、と思いました。最近、介護福祉士をめざす他校の友達と話し、きちんと自分の視点で意見を持てるようになって自分を発見。たくさん勉強したことは必ず自分にかえってくると確信しています。

がんばれ受験生！
YMCAは一人ひとりの
「夢」を応援します！

いよいよ出願がはじまります！

10月1日から、いよいよ2007年度入学希望の方を対象とした推薦入試が始まります(高校既卒者の入試は9月1日から始まっています)。出願の窓口での取扱いは、月曜日～土曜日の午前9時から午後5時までです。

「まだ進路を迷っていて…」という方、カレッジ・イン(体験入学+学校見学)は秋以降もを行います。ぜひ自分の目で見て、進路を選んでください。

2006年 10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	
15	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
29	30	31				




	出願	試験日	合格発表	試験種別
第2回	10/1 ~ 10/7	 10/8	10/14	指定校推薦・特待生 学校推薦・自己推薦 カレッジ・イン推薦
第3回	10/10 ~ 10/21	 10/22	10/28	指定校推薦 学校推薦・自己推薦 一般入試 カレッジ・イン推薦

 カレッジ・イン 10/14 9:30~15:30

2006年 11月


	出願	試験日	合格発表	試験種別
第4回	10/23 ~ 11/4	 11/5	11/11	学校推薦・自己推薦 一般入試
第5回	11/6 ~ 11/18	 11/19	11/25	カレッジ・イン推薦

 カレッジ・イン 11/11 9:30~15:30

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
	6	7	8	9	10	
12	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

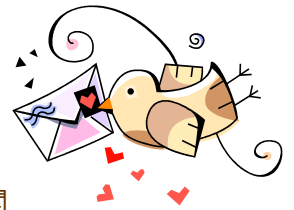
2006年 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24		26	27	28	29	30
31						

	出願	試験日	合格発表	試験種別
第6回	11/20 ~ 12/9	 12/10	12/16	学校推薦・自己推薦 一般入試 カレッジ・イン推薦

 カレッジ・イン 12/9 9:30~15:30

うれしいお手紙をいただきました



「拝啓 初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。さて、9月11日の18:30ごろ本厚木駅のみろードの玄関付近で70歳くらいの女性が座り込んでいました。周りに人はたくさんいましたが、話しかける人もありませんでした。私はちょうど通りかかったので声をかけようとする、若い人たちが「どうしたの？おばあちゃん大丈夫？」と座り込んで手をとったり、肩をたたいたりしていました。その方はお酒を飲んで酔ってしまったようで、命に別状がある状態ではなかったので警察の方に対応をお願いするに至りましたが、学生さんが一生懸命話しかけることで、名前や一人暮らしがわかり、意識を保つことができました。学校を聞いてみると「厚木のYMCAに通っている」ということでした。見てみぬふりをする人が大半の中、声をかける勇気を持つ若い人がいることがとてもうれしかったのでお手紙を書かせていただきました。健康福祉科の女性3名と男性3名でした。もちろん他の学生さんもそのような方を見かけたら同じようにすると思いますが、「当たり前のこと」ではなく、ぜひよくやったねと声をかけていただけたらと思います。今後も実習などでお手伝いできる機会があれば協力していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

9月の半ばに、上記のようなお手紙をいただきました。差出人は本校の学生も実習でお世話になっている介護老人保健施設の方でした。私たちYMCA健康福祉専門学校ではカリキュラムやたくさんの行事を通して大切な4つの価値「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」について学生の皆さんと一緒に考える機会を設けています。お手紙にもあるように「当たり前のこと」なのかもしれませんが、当たり前のことを当たり前でできる社会こそ私たちのめざすべき社会です。声をかけた学生のみなさんに心から拍手を贈りたいと思います。寒くなり始めた季節に、心温まるお手紙でした。



YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科
健康福祉科
介護福祉科

〒243-018
厚木市中町4-16-19
電話 046-223-1441
FAX 046-223-2101
Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp
HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分
本厚木駅周辺にはみろードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

ホームページもご覧ください
<http://www.yokohamaymca.ac.jp/health/>

Realize your dream!

～地域福祉をささえるのはあなたです！～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。